

シンポジウム「消費者本位の金融経済教育  
—J-FLEC認定アドバイザーが果たすべき役割—」

## J-FLEC設立の狙いとその戦略

2024年9月18日

金融経済教育推進機構 理事長 安藤 聡

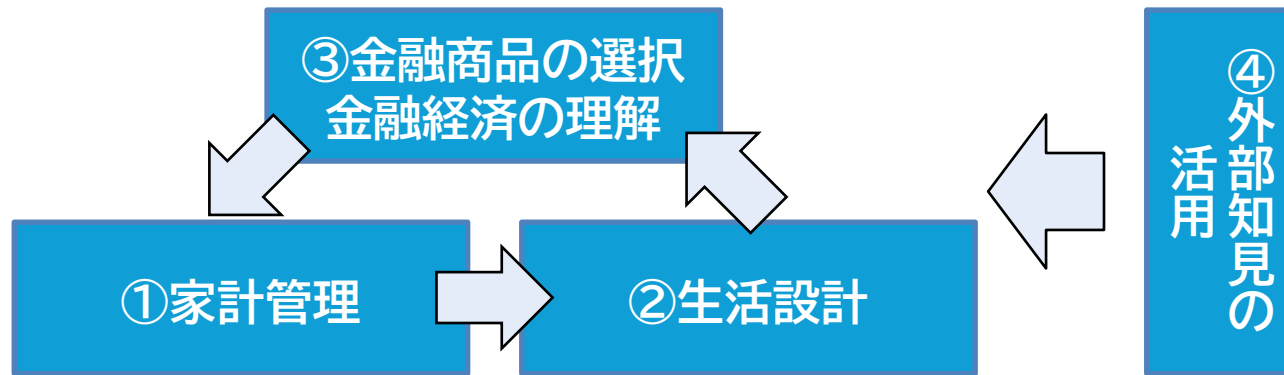
**J-FLEC**

金融経済教育推進機構



- 国民一人ひとりが、経済的に自立し、安心かつ豊かな生活を送るためには、家計管理や生活設計といった基本的な金融知識に加え、それぞれのライフプランに合った金融商品・サービスをより適切に選択し、安定的な資産形成を行う必要性を理解するなど、**金融リテラシー(注)**を向上させていくことが重要。

(注)金融リテラシーとは、経済的に自立し、より良い生活を送るために必要な「お金に関する知識や判断力」のこと。



- 金融経済教育を通じて金融リテラシーを高めることは、一人ひとりが描く**ファイナンシャル・ウェルビーイング(注)**の向上に繋がる。

(注)自らの経済状況を管理し、必要な選択をすることによって、現在及び将来にわたって、経済的な観点から一人ひとりが多様な幸せを実現し、安心感を得られている状態。



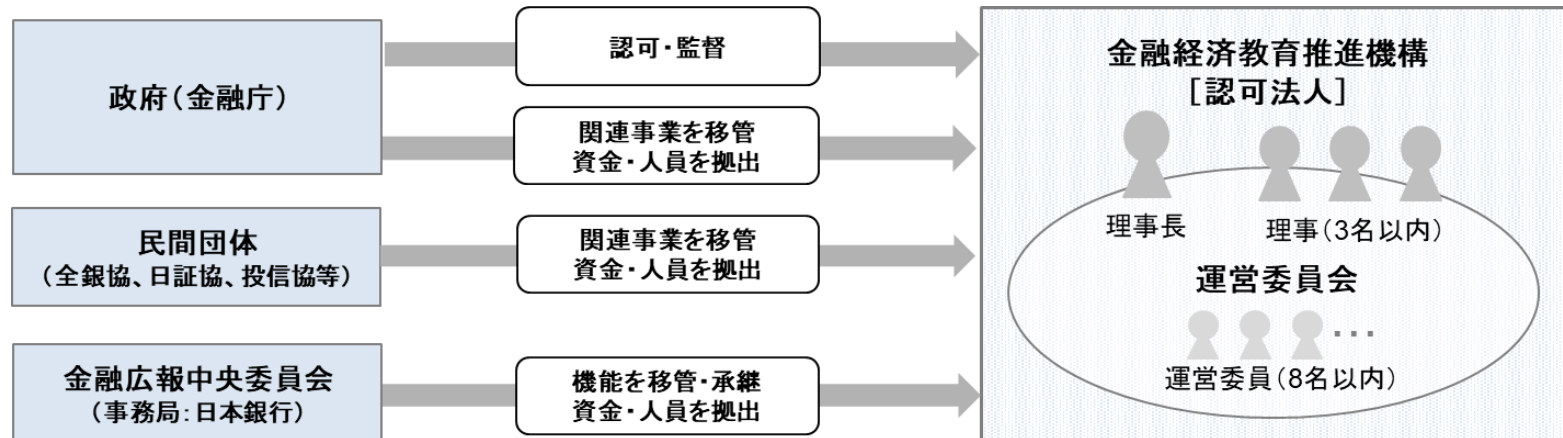
- これまで、政府、金融広報中央委員会、金融関係団体は、学校や職場等において、金融経済教育を実施。
- 但し、課題も存在。
  - 金融経済教育を受けたと認識している人は約7%。
  - 投資詐欺などの被害事案も引き続き散見。
  - 教育の担い手が金融機関・業界団体である場合、受け手（特に、個別企業）から敬遠。



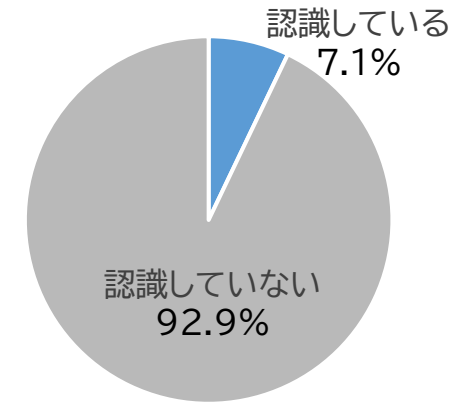
中立公正な教育を、官民一体で国全体に推進する必要。



### 金融経済教育推進機構の設立(2024年4月5日)



### 金融経済教育を受けたと認識



(出所)金融広報中央委員会「金融リテラシー調査(2022年)」より。

## 名称

金融経済教育推進機構

(英)J-FLEC: Japan Financial Literacy and Education Corporation

## 設立

2024年4月5日 ※ 本年8月より、本格稼働

## 資本金

10 億 5,729 万 6 千円

政府 :10 億 729 万 6 千円 (注)

日本銀行 :2,500 万円

全国銀行協会 :1,250 万円

日本証券業協会:1,250 万円

(注)うち5千万円を除く 9 億 5,729 万 6 千円は、設立に係る初期費用に充てる予定。

## 職員数

約70名

## ウェブサイト

<https://www.j-flec.go.jp/>



## J-FLEC公式Xアカウント

[https://x.com/J\\_FLEC?s=09](https://x.com/J_FLEC?s=09)



## 根拠法

金融サービスの提供及び利用環境の整備等に関する法律 (2024年2月1日施行)

## 目的

適切な金融サービスの利用等に資する金融又は経済に関する知識を習得し、これを活用する能力の育成を図るための教授及び指導(金融経済教育)を推進すること。

## 所在地

室町古河三井ビルディング (コレド室町2)  
東京都中央区日本橋室町2-3-1 9F



## ミッション

私たちは、一人ひとりが描くファイナンシャル・ウェルビーイングを実現し、自立的で持続可能な生活を送ることのできる社会づくりに貢献します。

## ビジョン

私たちは、金融リテラシーの向上を図るプラットフォームとして、時代の移り変わりと個人の多様性に即した金融経済教育を提供し、いまと未来の暮らしをより良くする金融サービスの活用や資産の形成と活用を支援します。



- ◆ 金融は国民にとって必ずしも親しいイメージを持たれているわけではない点を踏まえ、キャラクター性のあるロゴマークを採用。
- ◆ 子供から大人まで全員に対して優しく、ポジティブな印象を与えるコミュニケーションデザインとしてシンプルな造形ながら刻印が笑顔になっている様を表現。
- ◆ また、数字や記号など幅広いバリエーションで制作可能なため、一貫した優しく、親しみやすいイメージをつくりあげられる汎用性の高いデザインとなっている。

1

## 講師派遣事業

- ◆ 全国の企業や学校等に、J-FLEC認定アドバイザー(J-FLEC講師)を派遣し、金融経済に関する出張授業(無料)を展開。【2024年8月より受付開始】

2

## イベント・セミナー事業

- ◆ 全国各地で、社会人の方や事業会社(経営者の方)、教員の方などを対象とした、お金に関する無料イベント・セミナーを開催。【2024年8月より、順次実施】

3

## 「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験事業

- ◆ J-FLEC認定アドバイザーによる個別相談の無料体験を、J-FLECにおいて、対面またはオンラインで実施。【電話相談を2024年8月2日に開始。その他は今秋より開始】

4

## 「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポン配布事業

- ◆ J-FLEC認定アドバイザーによる有料の個別相談をはじめて利用する方を対象に、相談料が80%オフ(1時間あたり最大8,000円まで割引)になる電子クーポン(3時間分)を配布。【今秋より配布開始】

5

## 学校等への支援事業

- ◆ 金融経済教育に関する研究活動などに取り組む学校を指定し、教育研究費の助成やアドバイス提供を実施。【2024年8月以降、本格実施】

- J-FLECホームページにおいて、出張授業において活用する標準講義資料を一般公開しています。
- 以下10種類の対象層別の標準講義資料をPDFで提供しています。

対象層別【一般公開】			
学校向け	小学生(低学年)	職域向け	～20代 若手層用
	小学生(中学年)		～40代 中堅層用
	小学生(高学年)		～60代 ベテラン層用
	中学生用	一般向け	高齢者用
	高校生用		
	大学生用		

- ※ 上記に加え、テーマ別コンテンツとして、公的年金・私的年金・iDeCo・NISA・資産運用・投資信託・サステナブル・民間保険(生保・損保)・金融トラブル/消費者教育(学生・社会人)・成年後見制度・贈与/相続・終活等も作成(非公開)。
- ※ 一般の利用者の方が、標準講義資料を参考にすることが可能です。  
使用時はJ-FLEC資料からの引用であることの明記、一部抜粋の禁止などの留意事項をご確認ください。

教材はこちらから閲覧・ダウンロードが可能  
<https://www.j-flec.go.jp/materials/>



## 金融庁金融審議会 市場制度ワーキング・グループ 顧客本位タスクフォース 中間報告(2022年12月)

「(略) 家計管理、資金計画、つみたてNISA等の税制優遇制度や年金制度、多様化する金融商品・サービスなどについて、気軽に相談し、継続的に良質なアドバイスを受けられる環境を整備することが重要である。(中略) しかしながら、顧客の立場に立っていると謳いながら、特定の金融事業者や金融商品に偏ったアドバイスが行われているケースが見られる、顧客にとって誰が信頼できるアドバイザーであるかが分からない等の課題も指摘されている。」



## J-FLEC認定アドバイザー制度の創設



## □ J-FLEC認定アドバイザーとは

J-FLECでは、J-FLECが定める認定要件に合致し所定の審査を通過した個人を、一定の中立性を有する顧客の立場に立ったアドバイザー(「J-FLEC認定アドバイザー」)として認定・公表します。

- ◆ J-FLEC認定アドバイザーは、家計管理、生活設計、NISA・iDeCo等の資産形成支援制度、金融商品・サービス、消費生活相談等についてアドバイスを行う者を想定。
- ◆ J-FLECは、**J-FLEC認定アドバイザーの氏名のほか、個人がアドバイスを依頼する際に参考となる情報**(保有資格、経歴、得意分野、報酬の目安、自己PR、実際にアドバイスを受けた個人からの評価等)を公表。

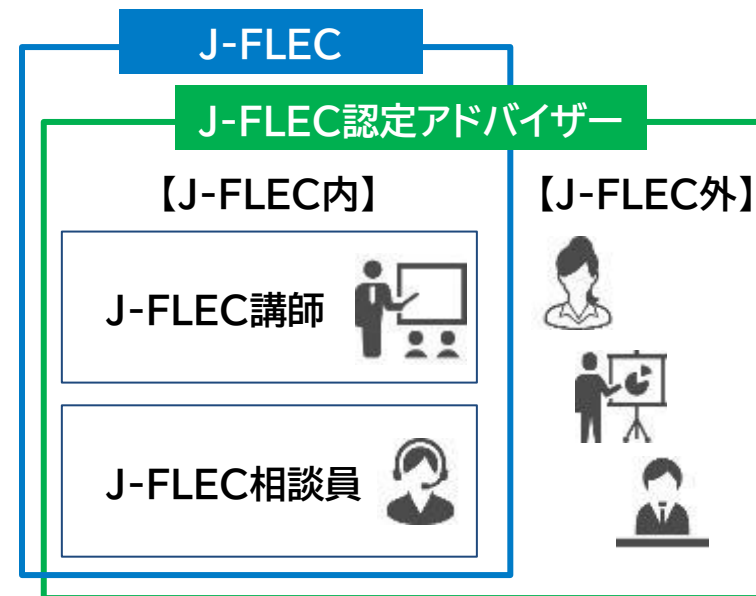
## □ J-FLEC講師・相談員

所定の審査を通過したJ-FLEC認定アドバイザーは、**J-FLECが行う講師派遣(出張授業)の講師、無料相談の相談員業務を行うことが可能**です。

## □ 「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポン配布事業

**J-FLEC認定アドバイザーがJ-FLEC外において営むサービスを利用する個人に対して、相談料の一部を補助する仕組み**(割引クーポンの電子配布)を創設します。

- ◆ アドバイスの価値や意義を個人に知っていただく契機となるよう、個人が信頼できるアドバイザーにアクセスしやすい環境を整備。
- ◆ J-FLEC認定アドバイザーは、J-FLEC外においても、その称号を使って個別相談を行うことが可能。



## ステップ 講師派遣(出張授業)、イベント・セミナー

J-FLEC

1

金融経済教育の機会を提供し、ライフプラン・家計管理・資産形成などの重要性について理解していただく。

## ステップ 「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験

J-FLEC

2

1時間の無料相談体験を通じて、自分自身が取るべき具体的な行動を知っていただく。また、お金に関するアドバイスの価値や意義を認識していただく。

## ステップ 「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポン

J-FLEC  
認定アドバイザー

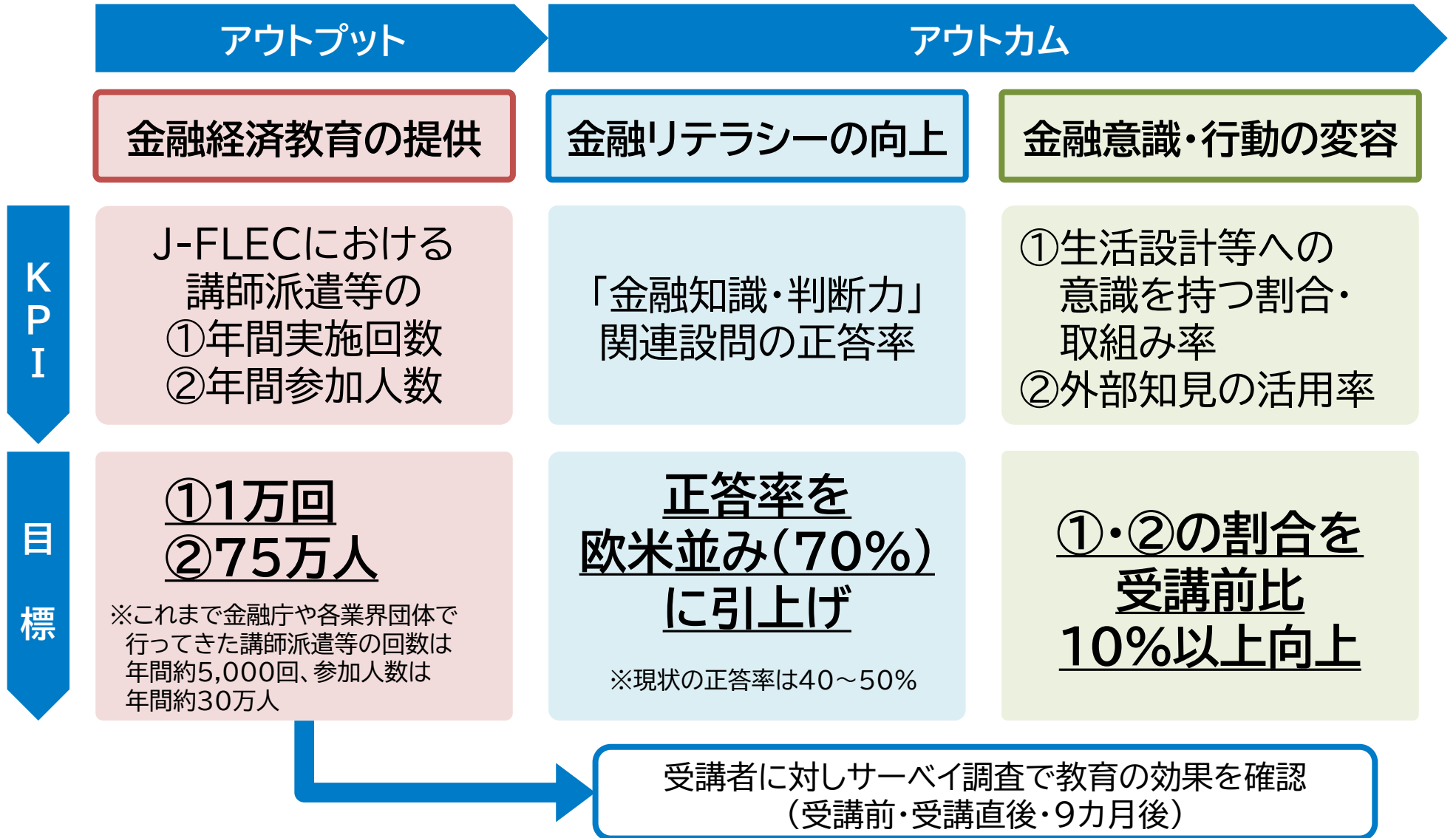
3

相談料の割引クーポンを配布することによって、実際にお金に関するアドバイスを受けるきっかけとしていただく。そして、自分自身が取るべき具体的な行動についての理解を深めていただく。

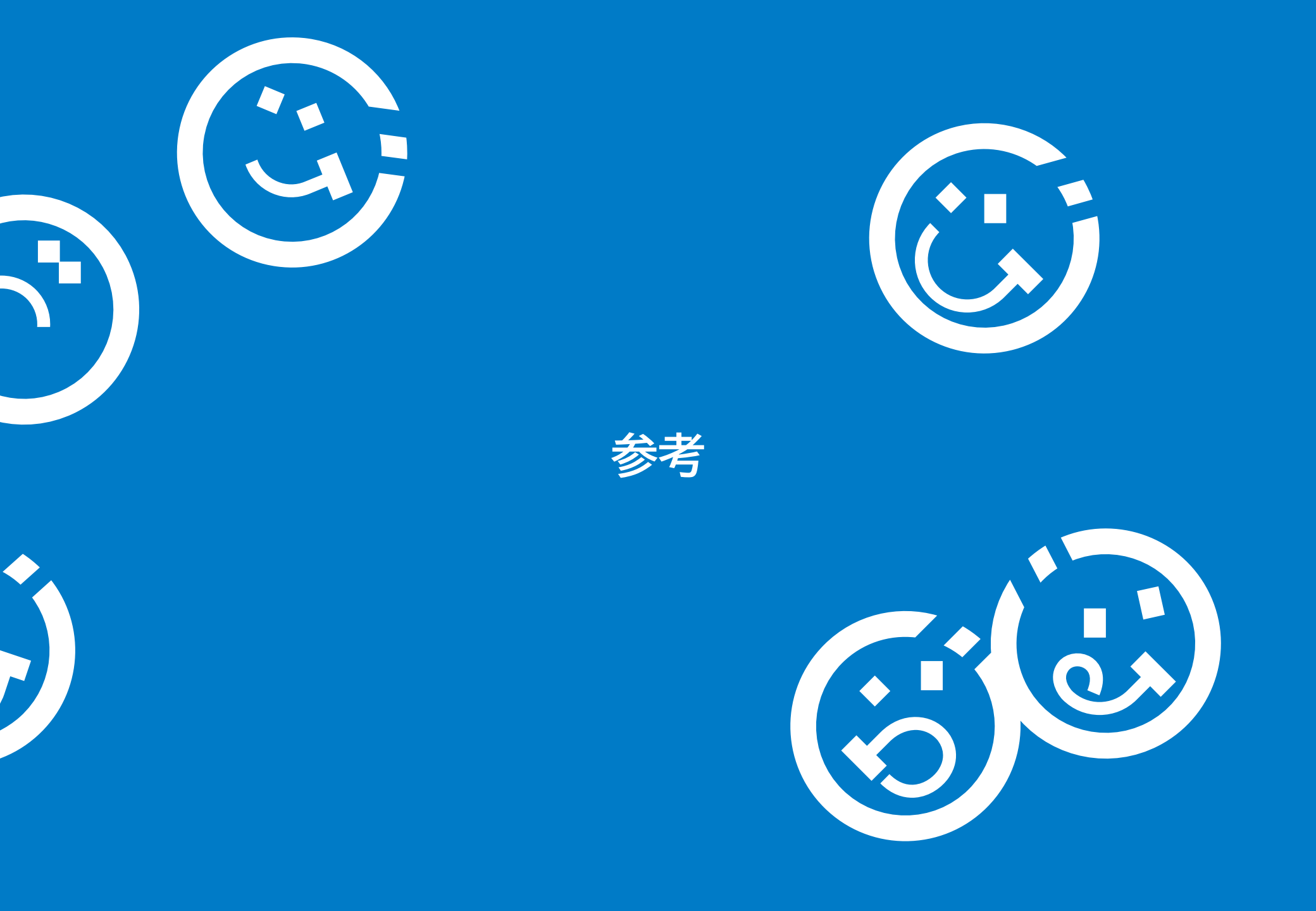
個人の金融意識・  
金融行動の変容

一人ひとりが描くファイナンシャル・  
ウェルビーイングの実現

- アウトカムの測定とサーベイ調査に関連するKPIとして、下記の3点をJ-FLECのKPI及び目標として設定します。



- ◆ 中立公正な組織として、偏りのない金融経済教育を推進
  - 家計管理・生活設計・資産形成・金融トラブル防止など広く教育
  
- ◆ 金融機関を兼業していない認定アドバイザーが教育の担い手
  - 営業を受けることが苦手な方も、安心して学べる環境
  
- ◆ 企業にも、学校にも、地域の公民館にも、広く展開
  - 誰一人取り残さない学びの場を提供



参考

- ❑ 全国の企業や学校等に、所定の審査を通過したJ-FLEC認定アドバイザー(J-FLEC講師)を派遣し、金融経済に関する出張授業(無料)を受け付けています。
- ❑ 講師派遣では、「金融リテラシー・マップ」に沿って、年齢層別に最低限身に付けるべき金融リテラシー(お金に関する知識・判断力)を習得いただけるような研修・授業を実施します。また、より詳しく学びたい方向けの詳細なコンテンツも提供する予定です。講義内容や時間については、講義テーマに応じて講師と事前調整することが可能です。

年齢層	学べる主な内容(例)
小学生	<b>「おこづかいから学ぶお金の話」</b> ・おこづかいの使い方、貯め方、お金の流れ・トラブルの事例など ※ ドリル・ゲーム・クイズなども活用した参加型形式もあり
中学生・高校生	<b>「大人になる前に知っておきたいお金の話」</b> ・収支管理の基本、お金の貯め方のコツ、資産形成と経済活動の関係性、クレジット・奨学金の仕組みと注意点、金融トラブルの防止など
大学生・若手社会人(10代~20代)	<b>「社会人として知っておきたいお金の話」</b> ・家計管理や給与明細の見方、資産形成の基本(長期・積立・分散)や支援制度(NISAなど)、社会保険と民間保険、クレジット、奨学金、金融トラブルの防止など
中堅社会人(30代~40代)	<b>「将来に向けて知っておきたいお金の話」</b> ・家計の現状把握から外部知見(お金の専門家)の活用を通じた将来設計・資産形成の考え方、社会保険と民間保険、各種ローン、金融トラブルの防止など
ベテラン社会人(50代以上)	<b>「リタイア前後に知っておきたいお金の話」</b> ・定年退職後の生活を見据えた年金などの社会保険、退職金、税金の仕組みのほか、資産寿命の延伸、贈与・相続・終活などの概要



※ 特別支援学校向け、教員向けにも研修・授業を実施します。

※ 講義資料は、J-FLEC以外の教育活動を行っている方々にも参考としていただくため、J-FLECホームページにて公開済。

- 全国各地で、社会人の方や事業会社(経営者の方)、教員の方などを対象とした、お金に関する無料イベント・セミナーを開催します。
- 忙しくて時間がない方、遠隔地にお住まいの方にもご参加いただけるよう、イベント・セミナー会場だけでなく、オンラインによる参加やオンデマンド動画による視聴も可能とする予定です。

## 【イベント・セミナー例】

対象層	主な内容等
社会人	<b>「社会人として身に付けておきたいお金の話」</b> ・収支管理・資産形成の基本や利用できる制度(NISA等)、社会保険と民間保険など
事業会社 (経営者)	<b>「職域における金融経済教育のメリット」</b> ・人材確保の観点からの金融経済教育の重要性、企業における取組み事例の紹介など
教員向け	<b>「基礎から知りたいお金の話」</b> ・先生自身に知っていただきたい、家計管理・資産形成などの基本とポイント  <b>「生徒に伝えたいお金の話」</b> ・授業でお金について教える際のポイント、授業で使えるJ-FLEC教材の体験など
親子向け	<b>「お金の使い方・貯め方体験プログラム」</b> <b>「会社の仕組みやお金の流れを学習できるワークショップ」</b>



## 「J-FLECはじめてのマネープラン」電話相談

□ J-FLEC認定アドバイザーによる「はじめてのマネープラン」無料体験(電話)を実施しています。

概要:

- ✓ 「家計管理」やNISA・iDeCo等の「資産形成支援制度」、「金融商品・サービス」等、金融経済全般に関する一般的な疑問や質問についてJ-FLEC認定アドバイザーが回答する電話相談窓口。
- ※ 個別具体的な税金等の計算、個別の金融商品等に関する相談はできません。

ジェイフレック

電話番号: 03-3231-1209

料 金: 無料 ※通話料は利用者のご負担となります。

時 間: 最大30分

受付時間: 10時00分～17時00分(土日祝・年末年始を除く)

## 「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験

□ 2024年8月以降、お金に関するアドバイスの価値や意義を知っていただくきっかけとするため、J-FLEC認定アドバイザーによる個別相談の無料体験を対面またはオンラインで提供予定です。

◆ 無料体験は最大1時間で、事前予約制。

(相談テーマ例)

ライフプランの立て方、家計の見直し、教育資金の準備、  
住宅ローンの借入れ、金融資産の運用、リタイアメントプラン 等

◆ 個別具体的な税金等の計算、個別の金融商品等に関する相談は不可。



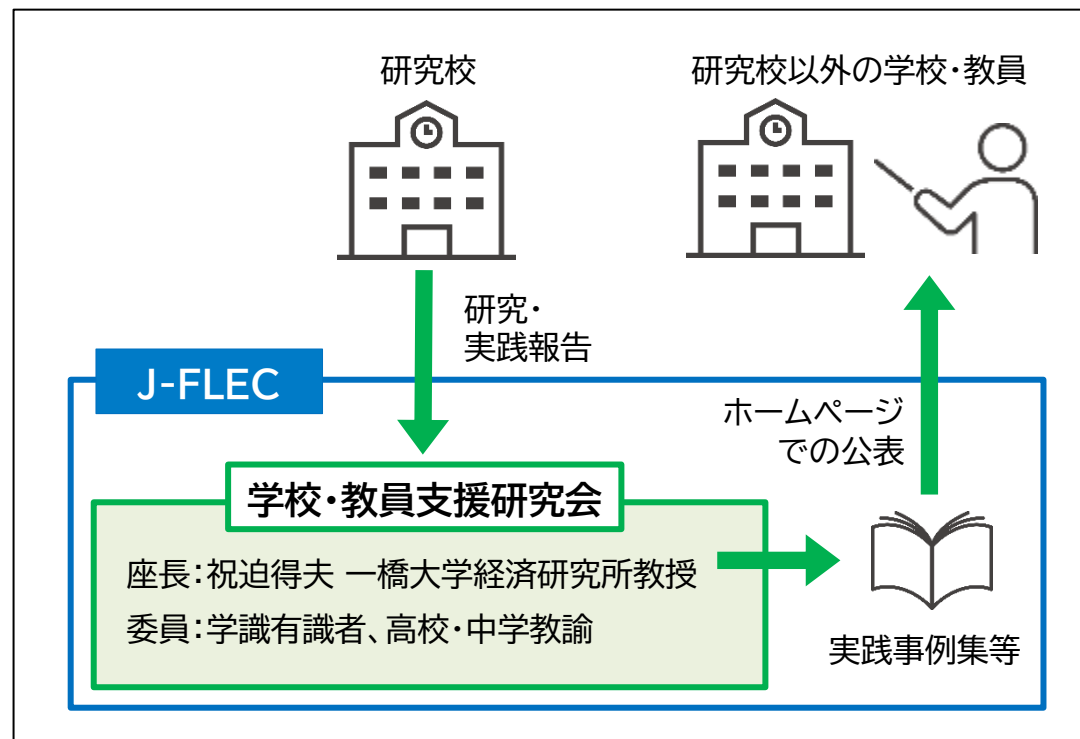


## 金融経済教育研究校制度

- 全国各地で、金融経済教育に関する研究活動や実践に積極的に取り組む学校を指定し、教育研究費の助成や研究・実践計画作成に当たってのアドバイスの提供など、さまざまなかたちで支援します。
  - ※ 同様の活動を行う学校横断的な教員グループについても、本制度に準じた指定・支援を行う予定です。
- 研究・実践の報告は、研究校以外の学校や教員の方々にも広く活用いただけるよう、J-FLECのホームページで公表します。

## 学校・教員支援研究会

- J-FLEC内に「学校・教育支援研究会」を設置し、以下のテーマ等を通じて、学校教育や教員の支援のあり方について検討します。
  - ◆ 学習指導案の制作
  - ◆ 上記研究校の研究・実践報告等をもとにした実践事例集の作成
  - ◆ 金融経済教育の実態調査
- 成果物はJ-FLECのホームページで公表し、金融経済教育に取り組む学校や教員の方々に広く活用いただけるようにします。



- J-FLEC認定アドバイザーに認定された方は、ご自身の相談業務において当称号を利用することが可能であり、「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポンの対象事業者となることができます。
- また、J-FLEC認定アドバイザーに認定されたのち、希望する方については別途所定の審査を受け、合格いただくことで、J-FLECの講師又は相談員としての業務を受託することが可能です。
- J-FLEC認定アドバイザーへのご登録を希望される方は、J-FLECのHPよりお申込みください。

(HP) <https://www.j-flec.go.jp/advisors/registration/>

お申込み

書類審査

面談審査

研修受講

J-FLECのHPから  
お申込み



お申込み情報をもとに、  
J-FLECにて  
書類審査を実施

書類審査通過者は、  
オンラインにて  
面談審査を実施

面談審査通過者は、倫理・コンプライアンス研修の受講および確認テストを受験

- 本資料における記載事項は、本資料の日付時点のものであり、今後変更となる可能性があります。
- 本資料の無断転用・転載・使用を禁じます。